



東京都小平市
小平・環境の会 共同代表
島 京子 さん

Q 差し支えなければ、年齢と出身地を教えてください。

A この7月で67歳。東京都北区生まれ、埼玉県上尾市育ち。5歳まで育った北区滝野川の小川には、夏になると蛍が飛んでいました。

父はアメリカ移民で6人兄弟の末っ子でした。アメリカで生まれて、祖父(父親)が亡くなった時、祖母は上3人の子どもをアメリカに残し、下の子ども3人を連れて日本に戻ってきたのです。

やがて太平洋戦争が起こり、アメリカに残った伯母たちは日本人収容所に入れられて、英語が話せた伯父たちは日本に戻ってからひどい差別を受けたと聞いています。そのせいか、父には小さいころから『差別』について教わっていた気がします。

その後のベトナム戦争では、アメリカ在住だった従兄が沖縄からベトナムに行きました。生きて帰って来たものの、PTSD(心的外傷後ストレス障害)になり、その後行方不明になってしまいました。

Q ごみ問題に関心をもつようになったのは何故ですか？

A チェルノブイリ原発事故後、中野区で放射能測定室を立ち上げ、その運動に関わっていたのですが、放射能もごみも反戦も、何もかも底にあるのは一緒の問題だと感

じ、「未来からのやめてという生命の^{いのち}声が聞こえませんか？」という集まりを、年1回開催することになりました。

その中でさまざまな問題を取り上げていたのですが、私が小平市に転居することが決まった後に、当時日の出町在住で多摩地区のごみ問題と闘っていた田島征三さんにお越しいただいたことがありました。

その時「小平に越してくるのなら、多摩地区のごみ問題にも関わってね」と言われ、引っ越してすぐ、「水からの速達」という映画の上映に関わることになったのです。

上映された映画を観たら、そこに「もうのんびり暮らそうと思って」と言って、中野区から日の出町谷戸沢処分場近くに転居していった筈の方が映っていて…。「これは、ごみ問題に関われと言うことね」と、覚悟を決めて早27年になります。

Q ごみかんに入会して下さったきっかけは？

A 知り合いが「ごみ・環境ビジョン21」の役員をしていたので必然的に会員に。

Q ごみ問題に関わること以外で、趣味や生きがいは？

A 趣味と言えるのはロックバンドのGLAYのライブと村本君(ウーマンラッシュアワー)のライブに行くことでしたが、村本君はアメリカにスタンダップコメディの修行に行ってしまうとの事で、しばらくは、またGLAYだけになりそう。

GLAYファンになったのも、多摩地区のごみ問題に関わり始めてすぐの事でした。それまでも散々いろいろな問題に取り組み疲れ切っていた時期に、大学生協のCD売り場に

勤めることになり、それまで遠ざかっていた音楽番組を久しぶりに見た時に、いきなり目に飛び込んできたのがGLAYでした。遡って彼らの音楽を聴き「今時こんなにものを考えている若者がいるんだ」と衝撃を受け、長いファンレターを書きました。それ以来ずっとファンです。

今年の7月30、31日、幕張メッセで開催される彼らのライブにも行きます！

Q 特筆すべき近況があれば、教えてください。

A 生ごみを堆肥にして野菜作りをする実験(?)的農作業をしていましたが、3.11の原発事故の影響でそれができなくなりました。さらにそれまで使っていた農地が使用できなくなったりしました。

紆余曲折あって、今の農地にたどり着いて8年余り。そこも農地法の関係でいよいよ使えなくなりそうです。これで、20数年続いた農業も、ついに終わりかな？



すくすく育つきヌサヤ。もう見られなくなると思うと寂しいです。

Q ごみかんに期待したいこと、提案したいことはありますか？

A これまでも、本当に頑張っていますがいっぱいと思っていますが、今後も頑張って下さい!…というのも、私が所属する「小平・環境の会」は、役員の高齢化でついに90歳を超えた方もいて、多分何年も持たずに解散する羽目になりそうなので…。